

第2回 第14採択地区 教科用図書採択協議会議事録

平成30年7月18日（水）

第14採択地区教科用図書採択協議会事務局

第2回 第14採択地区教科用図書採択協議会 議事録

開 会：平成30年7月18日（水）午後1時31分

閉 会：平成30年7月18日（水）午後2時48分

会議場：秩父市歴史文化伝承館 5階 第1会議室

傍聴者：8名

出席委員

秩父市教育委員会教育長	倉澤 俊夫（会長）
秩父市教育委員会委員	新井 正夫
秩父市教育委員会委員	浅見 知子
横瀬町教育委員会教育長	久保忠太郎
横瀬町教育委員会委員	浅見 進
横瀬町教育委員会委員	浦島 則之
小鹿野町教育委員会委員	齊藤 榮一
小鹿野町教育委員会委員	小池 恭一
皆野町教育委員会教育長	豊田 尚正
皆野町教育委員会委員	小笹 昭二
皆野町教育委員会委員	小林 歌織
長瀬町教育委員会委員	浅見マユミ
長瀬町教育委員会委員	西山 忠文

出席事務局職員

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監	千島 裕夫（司会）
秩父市教育委員会指導主事	板倉 邦弘
秩父市教育委員会指導主事	橋本 泰伸
横瀬町教育委員会指導主事	岡村 淳史
小鹿野町教育委員会指導主事	山口 貴久
皆野町教育委員会指導主事	新井 洋介
長瀬町教育委員会指導主事	塩川 和之

1 開 会

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監

第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を開会する。

2 会長あいさつ

第14採択地区教科用図書採択協議会会長

まず初めに、西日本豪雨災害で家を無くされた方々に、お見舞い申し上げると共に、亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げます。

4月の第1回に続いて、各委員の皆様には、ご多用の中お集まりいただき、感謝申し上げます。さて、教科書採択については、昨年度の小学校道徳科に続き、

中学校でも教科化されることから、引き続き、マスコミ等でも取り上げられ、社会の関心も集まっているところである。関係の会議にあたっては、採択にあたり、公正性・透明性に一切の疑念を生じさせないように、調査員会において、慎重かつ適切に調査を進めてきたところである。

本日の協議においては、その調査員会において約2か月にわたり調査研究を行っていただいた「特別の教科 道徳」の報告をお願いしている。また、小学校の現行学習指導要領に基づく各教科の調査についても、事務局より報告する。その上で、協議については活発に議論を行い、この協議会として、最もふさわしい教科用図書を選定したいと考えている。

各委員の皆様には、教科用図書無償措置に関する法令規程を踏まえると共に、本協議会における規程に沿って、協議を進められるよう、お願い申し上げます。以上であいさつとする。

※議事の前に、司会より新たに委員になった2名を紹介する。

3 議 事 ※議長は、規約第10条の2に基づき会長が務める

(1) 教科用図書研究等の経過及び結果報告について

議 長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」について、説明をお願いします。

事務局：<ア 来場者の状況について>

平成30年度教科書展示会を平成30年6月15日（金）～6月28日（木）までの14日間、秩父市役所荒川総合支所で実施した。14日間で355名が来場した。昨年度より増加しており、特に学校関係者で増えている。中学校道徳の教科化への関心が高かったと思われる。

<イ 保護者等の意見について>

教科書展示会の来場者の意見については、別冊「平成30年度教科書展示会アンケート記述一覧」のとおり記述いただいた。前半は運営について、中盤は道徳に関して、後半は道徳以外の教科に関して記述をまとめている。

<ウ 校内研究結果のとりまとめ表について>

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳科）、平成31年度使用小学校教科用図書（各教科）の各学校における校内研究をとりまとめ、各市町ごとに集計したものは、それぞれ、別冊の調査研究報告書の最終ページに掲載している。複数回答のため、全学校数よりも多く意見があげられた。

<エ 調査員会の開催日等>

中学校道徳科…第1回の平成30年5月24日（木）（小学校と合同）
第3回の平成30年6月 7日（水）
第4回の平成30年6月26日（火）
第5回の平成30年6月29日（金）合計4回開催

小学校各教科…第1回の平成30年5月24日（木）（中学校と合同）
第2回の平成30年6月 6日（火）

そのほか、事務局で随時

議長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」の説明について、質問や意見はあるか。（しばらく間）よろしいか。
（「はい」という声あり）
それでは、確定とする。

（２）教科調査員による研究報告（中学校）について

議長：中学校道徳科 調査員代表者の入室を求める。

※報告の前に、事務局より別冊「研究報告書」について確認する。

調査員代表：（自己紹介の後、）

＜調査員会の方針＞

調査員会では、調査を進める上で、２つのことに留意した。１つ目は、選定権限のある本協議会委員の皆様の主体性を損なわないよう、各教科書の特色を客観的にまとめることである。２つ目は、調査については、国・県の「見本本が届き次第、各採択地区で十分な調査研究を行う」という指針に基づき、独自に進めさせていただいた。

＜共通に見られる工夫と特色＞

各発行者とも次期学習指導要領が求めている「考え、議論する道徳」を意識し、資料の選定、特設ページ、発問例などに工夫が見られた。特に、資料については、資料の教材一覧にあるように、各発行者とも生徒が深く考えられるよう、定番教材を揃えるなど、教材選定に力を入れたことが窺えた。一方で、教材のタイトルや発問例の示し方などには、発行者ごとの特色が窺えた。調査員会では、総括において、「教材のタイトルや発問例の示し方」を中心に、その特色をまとめた。

＜各発行者毎の特色＞

【東 書】

東書は教材のタイトルの前に「さらなる高みを目指して」や「あいさつを交わして」など考える観点を示している。発問については、教材の中の主人公の考えについてのものと、自分自身に照らしたものについて、１つずつ挙げている。その他、「気づき、考え、話し合い、深める」という問題解決的な学習の流れを取り入れている。

【学 図】

学図は、教材のタイトルの前に「公正・公平」といった内容項目と「差別や偏見のない社会」といったテーマを示している。発問については、教材の中の主人公の考え等についてのもの、話し合うためのもの、自分自身に照らしたものなど、合計で３～４つ挙げている。その他、「学びの記録」を３カ所設定し、どのような学習をしたのか、何を学んだのかを振り返られるようになっている。

【教 出】

教出は、教材のタイトルの下に、例えば「礼儀とはどのようなものだろう」といった考える観点を示している。発問については、教材の中の主人公の考え等についてのもの、自分自身に照らしたものなど、

計3つ挙げている。その他、内容をつかみやすいように文量が短い教材を採用している。

【光 村】

光村は、教材のタイトルの前に「自主・自律」といった内容項目を示している。また、発問例の前に考えるテーマを掲載している。発問については、教材の中の主人公の考え等について3つ、別の立場からの考えについてが1つ、自分自身に照らしたものが1つある。その他、1年を4つのシーズンに分けて、テーマに沿った内容項目を配置している。例えば、「自ら考えて」をシーズン1、シーズン2は「仲間とよりよい生活を送るために」といったように、特色があった。

【日 文】

日文は、教材のタイトルの上に「困難を乗り越える力」といった考えるテーマを示している。発問については、主人公の考え等についてのもので1つ、自分自身に照らしたものが1つある。その他、別冊「道徳ノート」を用意し、教科書の発問に対する考えを書けるような工夫が見られる。

【学 研】

学研は、教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問については、生徒が考えを深めたり、自己を見つめたりするものを1つ用意している。その他、「深めよう」というコーナーを各学年4カ所設け、考え・議論する問題解決的な学習に取り組めるようにしている。

【廣あかつき】

あかつきは、教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問については、発問例の前に考えるテーマを掲載し、発問例は主人公の考え等についてが3つ、自分自身の考えについてのもので1つある。その他、別冊「道徳ノート」を用意し、学習の最後に自分自身はどうだったか振り返られるようにしている。

【日 科】

日科は、教材のタイトルのみ掲載し、特定の価値観を押しつけないようにしている。発問については、主人公の考え等についてと自分自身の考え等についてが、それぞれ1つずつある。その他、教材は、学習指導要領の内容項目順（自分自身、人とのかかわり、集団や社会とのかかわり、自然や崇高なもの）にまとめて配列されている。

議 長：ただいまの報告に対し、質問、意見はあるか。

久保委員：(題材の中で) 秩父関係の話題が複数あったと思うが、その点について、調査員会で話題になったことがあったらお話しいただきたい。

調査員代表：秩父に関する題材については、教出、学研、日科で入っていた。教出と日科については、影森中学校の「旅立ちの日に」がテーマになっていた。学研については、全盲の新井先生（皆野中学校）のことが書かれていた。調査員会で話題になったのが、「資料は秩父のことが書かれ

ているが、各学年35個程度の資料があり、それが3学年で105個、そのうちの1つなので、これをもって秩父にあつてるといふことにはならないだろう。」とのことで、資料105個の中の1つという捉え方をしていった。以上である。

議 長：そのほかに、質問、意見はあるか。(しばらく間)

議 長：第14採択地区として最適な教科書の発行者名を1者挙げ、その理由をお願いする。

調査員代表：すべて調査した教科書は検定を通過している教科書であり、資料も定番教材を揃えるなど、どの発行者も工夫が見られが、その中で調査員会では、次の3者の評価が高かつた。

発行者番号116：日本文教出版

同 224：学研教育みらい

同 232：廣濟堂あかつき

<評価が高かつた理由>

①資料名の前後等に内容項目や考える視点などを掲載していない

資料の初めに、例えば「思いやり」などの内容項目を掲げてしまうと、それを目にした生徒は学習前に、ある程度結論が見えてしまうことになる。

また、資料によっては他の内容項目で指導した方がよい場合もあるため、調査員会では内容項目の表示はない方がいいのではないかとということになった。

②発問例の内容

道徳科では、生徒自身に資料の主人公の仮面をかぶせ、主人公の立場で「悩みや弱さ、葛藤」について考えさせる。そして、道徳的価値に気付き、授業の後半で「自分自身はどうだったか」を考えさせ、道徳的態度や心情・判断力を育成する。

そのため、主人公と自分自身に関する発問の視点のある教科書がいいのではないかとということになった。

③「考え・議論する道徳」の点での工夫

「考え・議論する道徳」は次期学習指導要領の道徳科で、中心となって大切にされていることである。この点は、まずは生徒自身でどう捉えるか、そして友達と話し合い、新たな気付きをするという問題解決的なプロセスが重要である。

こうした問題解決的な視点がある教科書がいいのではないかとということになった。

調査員代表：この3点に照らしたところ、日文・学研・あかつきの3者が挙げた。また、3者の中で、特にこの3点に特色があるのが「学研」、見やすさという点では「あかつき」に特色があつた。最終的には、教科書の内容面の特色が重要ではないかとということ、調査員会では「学研教育みらい」が最適であるとなつた。以上である。

議長：何か質問はあるか。(しばらく間) 特になければ質疑を終了する。
調査員代表者は、退室願う。

(3) 平成31年度使用中学校用教科用図書の採択について

議長：これより協議に移る。協議に際しては、規約第十二条により、「委員全員の一致によって決する」とし、「協議が調わない種目がある場合には投票を行う」とある。中学校道徳科について、調査委員代表者が推薦したが、委員から意見をお願いする。

(「(学研で) よい」などの眩きやうなずきあり)

議長：中学校道徳科については、「学研」を選定ということによいか。

(「はい」との声)

それでは、中学校道徳科については、「学研教育みらい」を選定する。

(4) 事務局による研究報告(小学校)について

議長：小学校の各教科について、事務局より報告していただく。なお、報告は、事務簡略化の観点から、前回の小学校各教科採択である平成26年度の採択協議会で使用された資料を活用する。

事務局：事務局からは、平成26年度採択協議会の研究報告書を活用し、いくつかの教科をまとめて報告する。なお、校内研究の取りまとめ表については、資料の終末ページに、平成26年度実施のものと本年度実施のものを合わせて掲載しているので、比較しながら報告を聞いていただきたい。

<①国語科(国語)・国語科(書写)>

(国語科(国語)は、東書、学図、三省堂、教出、光村の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「教育出版」を推薦する。理由としては、単元の始めには目標を明示したり、学習の進め方を示したりして、学習の目的や見通しをもって学べるようになっている。また単元の終わりには振り返りや学習のポイントが示され、基礎的・基本的な知識・技能の習得や定着を図れる。このような観点で良い構成となっているためである。

(国語科(書写)は、東書、学図、三省堂、教出、光村、日文の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「教育出版」を推薦する。理由としては、めあてが明確で自己評価がしやすく、めあてと評価が対応している。毛筆について、筆の持ち方や扱い方など導入がていねいである。また、1年生のひらがな及びカタカナ表におけるそれぞれの文字について、番号や矢印を使い、ていねいに説明をしている。このような点が挙げられる。

<②社会科(社会)・社会科(地図)・算数科>

(社会科(社会)は東書、教出、光村、日文の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「東京書籍」を推薦する。主な理由として、単元を貫く問題解決的な学習の進め方を全ての単元で具体的に示し、教師が指導しやすく、その上で、児童が主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育成できる構成になっている。また、用語を大切に「ことば」として扱い、簡単な説明を付することで、その意味を児童が理解しやすく、基礎的・基本的な内容を押さえることができやすい構成になっていることが挙げられる。

(社会科(地図)は東書、帝国の順に研究報告書の総括に沿って説明)
事務局では、「帝国書院」を推薦する。主な理由は、地図活用の基礎・基本を身に付けることや、思考力・判断力を育成することについて、教師が指導しやすくなっている。同時に、児童にとってはメリハリがあり、わかりやすい地図帳の構成になっている。また、日常的に、児童が自由自在に活用したいと思える地図帳になっている。以上が理由である。

(算数科は東書、大日本、学図、教出、啓林館、日文の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「東京書籍」を推薦する。推薦の理由としては、問題解決的な学習を通して、児童が自分の言葉で説明する活動を促していたり、新しい単元の始まりを右ページから始まるようにしたりして、自分なりの考えをもてるようにしている。子供たちに考える力や学習意欲をより高める工夫がなされている。

<③理科・生活科>

(理科は東書、大日本、学図、教出、信教、啓林館の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局として推薦するのは、「東京書籍」である。主な理由としては、児童が見通しをもてるように、「問題をつかもう」、「予想しよう」、「計画しよう」と明記されており、キャラクターの吹き出しも良いヒントになっていること、観察・実験の後に、「理科のひろば」、「しせつの活用」等があり、実生活との関連が示されていることが挙げられる。

(生活科は東書、大日本、学図、教出、信教、光村、啓林館、日文の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局として推薦するのは、「東京書籍」である。理由としては、季節の変化と生活の関連箇所や、栽培植物が他の発行者と比べて多く、秩父の環境に合っていて、児童が学習しやすい。全体的に学習が進めやすい構成になっている。色合いがたいへん良く、絵や写真のバランスが大変良い。ということが挙げられる。

<④音楽科・図画工作科・家庭科・体育科(保健)>

(音楽科は教出、教芸の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「教育芸術社」を推薦する。主な理由は、学びのつながりを大切にし、6年間を通して段階的・系統的に学習を積み重ねていけ

るよう、題材の構成が工夫されていることと、表現・鑑賞教材では、日本の音楽から世界の音楽へと視野を広げている。また、「わらべうた」や「民謡」、「お囃子」を取り入れ、伝統のあるものを引き継いでいく心情を自然に身に付けさせるよう配慮されていることが挙げられる。

(図画工作科は、開隆堂、日文の順に研究報告書の総括に沿って説明)事務局では、「開隆堂」を推薦する。主な理由としては、題材毎に「ふりかえって、はなしあおう」のコーナーを設け、常に自分の活動を確認しながら創作活動を進めていくことができるようになっていたり、児童が主体的に活動できるように、活動の写真や児童の作品を数多く紹介し児童が意欲的に自分の感性を働かせながら、作り出す喜びを味わえるようになっていたりすることが挙げられる。

(家庭科は、東書、開隆堂の順に研究報告書の総括に沿って説明)事務局では、「開隆堂」を推薦する。主な理由としては、話し合い活動を意図的に取り入れ、表現力の育成や主体的な学習をする力や創意工夫する力を養えること、教科書内の関連性や他教科との関連、「ひとロメモ」では、用語の解説や豆知識も得られ、「安全」や「環境」、「消費」、「発展的な学習内容」等のマークもあり、学習の参考になるものが多いことが挙げられる。

(体育科(保健)は東書、大日本、文教社、光分、学研の順に研究報告書の総括に沿って説明)

事務局では、「東京書籍」を推薦する。主な理由は、健康・安全についての理解を深め、健康な生活を送る資質や能力を育てるために学習課題を明確に示すなど、学習が進めやすい構成になっていること、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、そして主体的に学習に取り組む態度などの生きる力を身に付けさせるために、多くの工夫がされていることが挙げられる。

議 長：事務局より報告があったが、小学校の各教科について、質問、意見等があれば挙手願いたい。

(「特になし」などの声あり。)

議 長：特になければ、質疑・協議等を終了する。

(5) 平成31年度使用小学校用教科用図書採択について

議 長：これより協議に移る。事務局の報告者ごとに、いくつかの教科をまとめて選定していく。

小学校国語科国語、書写について、それぞれ「教育出版」、「教育出版」が推薦されたが、委員から意見があるか。

(「特になし」との声。)

議 長：特になければ、国語科(国語)は「教育出版」、国語科(書写)は「教育出版」を選定でよいか。

(「はい」との声。)

議 長：それでは、国語科(国語)は教育出版、国語科(書写)は教育出版を

選定する。

議 長：続いて、小学校社会科社会、地図、算数科については、「東京書籍」、「帝国書院」、「東京書籍」が推薦されたが、委員から意見があるか。
（「特になし」との声。）

議 長：特になければ、小学校社会科（社会）は「東京書籍」、社会科（地図）は「帝国書院」、算数科は「東京書籍」を選定でよいか。
（「はい」との声。）

議 長：それでは、小学校社会科（社会）は「東京書籍」、社会科（地図）は「帝国書院」、算数科は「東京書籍」を選定する。

議 長：次に、小学校理科、生活科については、どちらも「東京書籍」が推薦されたが、委員から意見があるか。
（「特になし」との声。）

議 長：特になければ、小学校理科は「東京書籍」、生活科は「東京書籍」を選定でよいか。
（「はい」との声。）

議 長：それでは、小学校理科は「東京書籍」、生活科は「東京書籍」を選定する。

議 長：次に、小学校音楽科、図画工作科、家庭科、体育科（保健）については、それぞれ「教育芸術社」、「開隆堂」、「開隆堂」、そして「東京書籍」が推薦されたが、委員から意見があるか。
（「特になし」との声。）

議 長：特になければ、小学校音楽科は「教育芸術社」、図画工作科は「開隆堂」、家庭科も「開隆堂」、体育科（保健）は「東京書籍」を選定でよいか。
（「はい」との声。）

議 長：小学校音楽科は「教育芸術社」、図画工作科は「開隆堂」、家庭科は「開隆堂」、体育科（保健）は「東京書籍」を選定する。

※最後に、小学校各教科（道徳科を除く）の選定について確認する。

（6）その他

議 長：今後の教科用図書関係事務等について、事務局よりお願いします。

事務局：＜ア 今後の教科用図書関係事務について＞

第14採択地区教科用図書採択協議会選定平成31年度使用小・中学校用教科用図書一覧表及び採択理由一覧表は、後日電子データにて送信する。

＜イ 採択決議書等の提出について＞

採択決議書については、秩父市教育委員会内 第14採択地区教科用図書採択協議会会長宛にて平成30年8月2日（木）までに提出を願う。

＜ウ 教科書需要数について＞

県への報告が8月23日（木）提出〆切となっているので、各教育委

員会に対応をお願いします。

<エ 採択協議会の会計報告について>

事務局より後日、各教育委員会に送付する。

議 長：その他、委員から何かあればお願いします。

特になければ、以上で議事を終了する。

4 閉 会

秩父市教育委員会事務局次長兼学校指導監

第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。